

AJU岐阜ダルク



# 鵜鮎つうしん

岐阜ダルクニュースレター平成30年夏号(66号)

## 自覚と分かちあい

特定非営利活動法人岐阜ダルク  
理事長 浅井太郎



酷暑のなか、皆様、いかがお過ごしでしょうか。「いのちに危険が及ぶほどの」と言われるぐらいの暑さです。クーラーに依存することを強いられます。私たちが子供の頃には考えられなかったことです。地球温暖化による異常気象という説明が念頭をよぎります。とはいえ、自然現象、いまや私たちの力だけでは何ともなりません。

岐阜ダルクの理事長に私が就任してちょうど一年となります。学ぶことばかりでどれだけお役に立っているのか、心もとない私であります。スタッフの皆さんのお働きにただただ頭が下がります。

この春3月25日に瑞穂市で「ミニ・フォーラム」を行いました。そこで各務原病院院長天野宏一氏がお話しをしてくださいました。その中で天野氏が興味深いことを指摘しておられました。依存対象に対して自由なところでないと治療にならない、閉鎖的な環境の中では治療にならない、なぜなら、本人が自分の病を認めないとやめることができないから、という趣旨の御指摘です。私たちは治すために、つつい、強制によって矯正しようと考えてしまいがちです。しかしそれでは肝心かなめの本人の自覚が生まれず、回復には至れないということなのだと思われまます。また天野氏は、「連携」と「分かち合い」が治療のキーワードともおっしゃっていました。自らの弱さの自覚と、人との言葉や思いのやりとりが立ち直りにつながるのでしょうか。しかしよくよく考えてみれば、このことは、一見健全に見える誰にでも当てはまることです。人間本来の活力が回復するためには、自分自身の弱さの自覚と人とのつながりが大事なのだということをお話しを通じて学ぶことができました。

ダルクにかかわってくださる皆様方のお心に感謝いたします。これからも御理解と御支援のほどよろしく御願いたします。

## 仲間の体験談

ジュン



入寮して早1年。あっという間だった。ミーティング、運動、基本的生活、人間関係、ゼ〜んぶ一生懸命やった。だけど、ある日、施設長・スタッフ全員に囲われて言われたんだ。「プログラムを徹底してるって言うけど全然できてない。正直じゃない!。」汗…。何言ってるんだろう?スタッフの目が大蛇のように睨んでる。警察の取り調べより恐いんですけど。どうやら仲間(男)がスタッフに相談したらしい。「ジュンちゃんが僕のかかとを足でつんつんした。」って。えっ?そのことですか?一瞬、固まった。高まる緊張。耐えきれず、正直になった。やっぱりできてません。自分のプログラム。

『男性と徹底的に距離を取る。』電車や車で移動する時は仲間(女)の隣に座る。宿泊部屋は仲間(女)と同室。最初は差別だ!と声を荒げて泣いて訴えた。なのに何だよ「兎に角やってみて。」ってさあ。心の中で呟く。女は嫌いだ(除く、妻)。人を好き嫌いで一方的に見るし、感情的だし、嫉妬や媚びたり無視したり。面倒なんだよ…。でもなあ、俺も同じなんだって最近分かってきた。

自分のセクシャリティの真実から目を反らし、歪め、抵抗し、否認して生きてきた。そんな自分が本当に生き方を変えたくて、逆説のプログラムに取り組み決心ができたのはつい最近のこと。仲間(男)から意識して離れる、目をそらす、話さない(挨拶だけ)、「話さない。」と断る、握手やハグはもつてのほか。なんてくだらない!と人から思われてもやりきる。嫌なことをやる。相手から嫌われると結果は重要じゃない。自分がどう感じているかを見つめ、行動をどう変えるかが大切だと気づいた。自分は優等生だから、傷ついたり、恥をかくなのが苦手だ。それも認めよう。不安や恐れもあるけれど、前より素晴らしい生き方になるよって何かに言われてる気がする。先行く仲間の姿からそれが伝わってくる。

ヨッチャン



名古屋ダルクに繋がってから5年が経過しました。繋がって最初の1年半は、退屈に感じたダルクの生活に嫌気がさし薬を使いました。一人だと不安で仲間と一緒に使いました。薬の効果で刺激的に変わった生活も憂うつへと変わっていき、今度は薬を止める環境で薬が止まらない自分に嫌気がさしました。仲間を巻き込んで計画を立てて、ダルクから一緒に飛び出しました。個室ビデオに入り薬を使いました。薬でよれた後、仲間とはぐれ一人になりました。面倒をみてもらおうと、5年も前に別れた前妻の自宅に押しかけたり、働いていた職場にかけ込みました。相手を不安にさせて迷惑をかけただけで、門前払いになる結果となりました。この先どうすればいいのか解らずに公園のベンチで横になっていた所に警察官から職務質問を受けて、正直に事情を話しました。ダルクに戻り行動の事実をミーティングで正直に言いました。先行く仲間のケンさんから「ミーティングでクリーンタイムを1年間毎日言いなさい、その後は使いたくなかった時に使いたいと言いなさい」と提案を受け実行しました。

1年と6カ月のクリーンタイムが継続して、施設長からダルクのスタッフをやらないかと声をかけてもらいました。ダルクのスタッフだけは絶対にやりたくないと思いつけてきたのですが、自分の回復の為だと自分に言い聞かせて決心し引き受けました。やりたくないではなく、やっていく自信がなかったのが正直な理由でした。スタッフ研修に入り、6ヶ月目にダルクを飛び出して薬を使いました。この2年間、薬が止まっていただけで、自分の問題に取り組んでこなかった事が原因でした。

仲間助けられ、今は去年の12月に岐阜ダルクに繋がりがプログラムをやり直しています。これからは自分の殻に閉じこもらず、仲間を信頼して助けを求める努力をしていきます。再びこの機会が与えられた事に、ハイパーパワーと仲間の導きに感謝します。

## 「どん底からの出発」劇 第3弾

施設長 遠山香



去る5月20日、大垣ルーテル教会で3回目となる演劇を上演しました。練習に練習を重ねる度に、仲間たちの表現力が上手くなっていきました。もちろんこまどくるプロセスの中では、台本作りから始まり、モチベーションの低い仲間への怒り、みんなで合わせるハーモニー、回を重ねる毎に今まで以上に演技をステップアップしたいとの思いからいろいろな苦労もあり、そのような苦労を乗り越えて本番を迎え、終わった時の解放感と割れんばかりの拍手をもらった時の喜びは格別だったと思います。

今回初めて夫や私の両親と姉も誘いました。私自身の体験にも基づいている話なので、両親がどんな気持ちになるのかドキドキでしたが、父親に感想を聞くと、『みんな一生懸命やってよかったよ。』とあっさりしたもの。姉は『自分の過去とも重なる思いもあったけど、みんなこういう思いをしてもっとつらい思いがあったと思うと泣けた』と言っていました。夫は涙をこらえるのに必死だったと話しています。

数名の仲間たちに感想を聞きました。

ちさこ(主役): 何回やっても緊張して、自分1人では手応えを感じられなかったけど、見に来てくれた人が泣いているのを見たり、ただ体験談を聞くよりわかりやすかった」と感想を聞くとやってよかったなと思った。

ケイコ: ナレーターをして薬をやめたいのにやめられなかった時の自分の感情とナレーターのセリフが重なって、練習も本番の時も感極まって、涙を流しながら表現しました。やめたくても誰にも言えなかったことがあったのでその台詞を言うことで、言えなくて苦しかった自分が解放された気がしました。

あやか(演劇リーダー): お客さんが目の前で泣いてくれていて、もはや泣きました。(笑) みんなで一生懸命練習してきたことや、自分が薬を使って生きてきて、こうやって人前で自分達の経験が生かされたことに感謝しました。

じゅん: 神父役をやりました。「神は必要のないことは与えません」という台詞があって、それを信じています。

ウメちゃん(ピアノによる歌の伴奏と警察官役): BGM、台詞の変更でぶっつけ本番な場面があり緊張しました。ハプニングで伴奏を伸ばしたりする場面もあり、ヒヤヒヤの連続の中、ベストを尽くせたことが自信になりました。

第4弾 カトリック岡崎教会 9月2日(日)午前 11:00 ~ 演劇をさせていただくことになりました。  
第5弾 岐阜ルーテル教会 9月30日(日)午後 2:00 ~ ぜひ、観に来て下さい♡



# 活動報告

- 4月  
28 フリーマーケット（道の駅可児ッテ）出店  
薬物電話相談日  
29 同盟福音基督教会 岐阜キリスト教会にて活動紹介  
日本福音ルーテル岡崎教会にて活動紹介
- 5月  
4 フリーマーケット（イオンタウン大垣）出店  
5 薬物電話相談日  
6 日本キリスト教団 藤原教会にて活動紹介  
8 笠松刑務所薬物離脱指導  
9 薬物電話相談日、各務原病院メッセージ  
10 CPA会議（東尾張病院）、ヨーガ  
社会を明るくする運動 岐阜県推進委員会参加  
11 岐阜コミュニティカフェ れんげ参加  
12 薬物電話相談日、歌の練習  
13 日本キリスト改革派 太田教会にて活動紹介  
アガベチャーチ 瑞浪チャペルにて活動紹介  
岐阜ダルク家族会  
14 岐阜ダルク後援会会議、岐阜措置所面会  
15 金華山登山 16 ケア会議（知立市役所）  
18 可児警察署面会 19 薬物電話相談日  
20 日本福音ルーテル大垣教会にて演劇公演  
23 笠松刑務所薬物離脱指導 24 ヨーガ  
25 陶芸、岐阜市サービス提供事業所研修会参加  
26 フラワーセラピー、薬物電話相談日  
27 岐阜ダルク家族会  
同盟福音基督教会 羽島キリスト教会にて活動紹介  
レクリエーション（ボーリング・食事）  
29 ケア会議（各務原病院）
- 6月  
1 各務原病院メッセージ 2 薬物電話相談日、歌の練習  
3 フリーマーケット（アルプラザ鶴見）出店  
9 薬物電話相談日  
10 岐阜ダルク家族会、友愛キリスト教会にて活動紹介、日本バプテスト連盟 岐阜バプテスト教会にて活動紹介  
13 各務原病院メッセージ、薬物電話相談日  
14 ヨーガ 16 薬物電話相談日、歌の練習  
17 フリーマーケット（アビタ北方店）出店  
18 岐阜ダルク後援会会議  
日本福音ルーテル岐阜教会にて草刈作業  
19 ケア会議（各務原病院）  
22～24 自助グループコンベンション in 名古屋  
23 薬物電話相談日  
25 情状証人出廷（岐阜地裁御嵩支部）  
26 笠松刑務所薬物離脱指導 27 日本福祉大学講話  
28 ヨーガ、岐阜ダルク理事会・総会  
29 笠松刑務所薬物離脱指導 30 フラワーセラピー
- 7月  
1 同盟福音基督教会 芥見キリスト教会にて活動紹介  
2 日本福音ルーテル岐阜教会にて草刈作業、  
3～11 ハワイの自助グループ参加  
7 薬物電話相談日 8 岐阜ダルク家族会  
11 薬物電話相談日、各務原病院メッセージ  
12 ヨーガ  
13 羽島市立羽島中学校にて講演  
同盟福音一宮キリスト教会にて活動紹介



5/15 金華山登山

運動プログラムを頑張るようになって山登りがすいすい出来ました！！うれしい！！（あやか）ステップと一緒に登れたのがうれしかった。ステップが一生涯命だったから、あと仲間と一緒に登ったから頑張れました。（ユキ）



5/28 レクリエーション（ボーリング・食事）



何年ぶりにボーリングに行きました。一言で言うと「本当に楽しかった」（あやか）

5/10 社会を明るくする運動 岐阜県推進委員会



6/27 日本福祉大学講話



6/22～24 自助グループコンベンション in 名古屋



- 14 薬物電話相談日、土岐保護区保護司会見学受け入れ  
15 同盟福音 大垣キリスト教会にて活動紹介  
日本聖公会 一宮聖光教会にて活動紹介  
19 関美濃保護区保護司会自主研修会  
20 笠松刑務所薬物離脱指導  
21 薬物電話相談日、フラワーセラピー  
22 岐阜ダルク家族会  
日本福音ルーテル復活教会にて活動紹介  
24 笠松刑務所薬物離脱指導  
25 ニュースレター発送作業 ※週1日 パソコン講習

## 学生の皆さんの感想

- 薬物依存者にはできる福祉的な支援は、どんなことか自分で考えてみたくれど分かりませんでした。それは私の中に依存者への偏見があるかもしれないからです。だから偏見のないことからはじめたいです。
- 今回の講話でダルクの方々のお話を聞き、「依存症」は病気であり意志の弱い人がなるものではないと改めて感じました。
- ダルクのプログラムを聞いて、思ったよりも大変そうだと感じた。
- 薬物依存に至るまでの心内は、正直誰にでもあるような思いがあるという事に、驚きと恐さがありました。
- 今まで薬物依存症に対して、心が弱く薬物に甘えているだけの人だと思ってしまっていたので、とても申し訳ない気持ちになった。
- 止めたい気持ちとそうでない感情が入り混じって、依存とはこういうものなのかなと思った。ミーティングがとても大きな効果があって正直に話す事が薬物から離れることにつながるのかなと思う。
- 強い意志を持つことで薬は止められるのだと思っていたが、実際は強い意志を持っているだけでは意味は無く、その後の行動、自分自身を変えなければ本当に止めることが出来ないのだと思いました。

7/3～11 ハワイの自助グループ参加



- ハワイに行かせてもらって、3つの挑戦をした！ハワイの美容院に行くこと！スカイダイビングのツアーに参加したこと！英語でパンパン話しかけること！ドキドキと緊張と楽しい、恐い、うれしい、最悪を全部味わって帰ってきました！感謝です。（ケイコ）
- 薬が抜けてから自分で働いたお金でハワイに行かせてもらいました。足りない分は生活費の中からためることができました。思いがけないことでした。感謝です。（ちさこ）
- ハワイに行かせてもらって、ハワイのミーティング会場と時間を調べて仲間とバスに乗って自助グループに参加しました。日本で仲間を教えてもらって英語で今日だけのリーディングカードを読ませてもらったり、ミーティングで話したり、いろんな経験をしました。感謝します。（まさひろ）

薬物電話相談日&岐阜ダルク家族会案内  
1 電話相談は毎週土曜日（第5土曜日を除く）と第2水曜日に行っております。TEL 058-251-6922  
2 岐阜ダルク家族会は第2、第4日曜日に行っておりますので、お電話でご確認ください。TEL 058-201-3555



こんにちは。  
ステップダウン。  
施設に来て2年8ヵ月になるワン。  
疲れた足は、上げて寝ると、  
楽になるワン。



エアロバイク

雨の日の運動プログラム



トランポリン



JOBA



卓球台

献品にて沢山の運動器具をいただきました。  
雨の日も運動が出来るようになりました。

## 後援会だより

岐阜ダルク後援会  
会長 齋藤幸二



今年二月ごろ、四旬節の集会の準備のための参考にしようと、昔買った参考書を本棚に探しました。でもどうしても見つかりません。

100 ページ足らずの小冊子で当時の定価が二百円だから、ネットではもっと安く買えると思い、探したところ、驚いたことに九千円以上の値がついていました。とてもそんなに払うことはできません。「こうなったら徹底的に探すしかない。確かに家のどこかにあるはずだ」と、岐阜に越して以来 23 年間一度も開けなかった 20 箱以上の押し入れのダンボールを片っ端から開けて中の本をひっぱり出しました。部屋の中は本で足の踏み場もなくなり、何時間も探したあげく、最後のダンボール箱の一番下からその本がでてきました。その時の喜びは最高でした。それは探していた本が見つかった、という喜びではなく「九千円が見つかった！」という、きわめて下世話な喜びだったのです。

しかし悪いことに、湿気によるカビだらけの本が積み重なる部屋の中に長時間いたことにより、すっかりのどと肺を痛めてしまいました。

皆さんがもし押し入れにしまっていた 23 年前の大量の本の中から探しものをするときは、かならずマスクを着用し、陽にあててよく乾かしてから探すことを強くお勧めします。



## Step house だより

スタッフ 山田 興久



Step house の仲間たちが薬物依存症から回復しようとする人たちによる自助グループに参加していることは、このつうしんでも繰り返しお伝えしてきたことです。全国にあるこの自助グループの年に 1 回のコンベンションが、6 月に地元で開かれました。

Step house の仲間たちも、主催者側としてそれぞれに役割を持って参加しました。何ヶ月も前から準備に携わった仲間もいます。施設の外の様々な立場の人たちと共に、知恵を出し合い作業に汗をかいて当日を迎えました。仲間一人ひとりが自分の役割を果たせば、このような大きなことができるかと実感し、自分の責任を果たした達成感を得た仲間も多かったです。開催中の一つのイベントでは、Step house の仲間たちでずっと練習してきた歌を合唱しました。大勢の人に聴いてもらうことができ大きな喜びとなりました。コンベンションには全国から千人を超える人たちが集まったのです。普段会うことのない他の地域の仲間の中に、自分が理想とする姿・回復していく目標となる姿を見つけた仲間もいました。Step house の仲間たちにとって意味のある経験でした。

コンベンションの翌日、私にとって大きな出来事がありました。薬物事犯の裁判に情状証人として出廷した帰り道、同じように逮捕され裁判を受けた経験のある仲間と、私は自分の裁判等でお世話になった人の話をしました。元々同じ職場の先輩だった人が弁護士となり、薬で捕まった私の弁護をしてくれたのです。様々なことで本当に助けていただきながら薬を使う自分を変えられずに、その後疎遠となってしまった先輩のことを話しました。そしてその夜、自助グループに参加するため仲間たちと一緒に名古屋の地下鉄に乗った私は、本当に驚き感謝することになりました。同じ車両にその先輩が乗り合わせていたのです。10 数年ぶりに会い、「野垂れ死んでないかと心配してた」と言う先輩に、今はダルクのプログラムを行っていることを少し胸を張って伝えられました。

プログラムにつながって回復が始まると、誰もが与えられるプレゼント。これから旧交を温め、何かで埋め合わせできる機会が来るかもしれません。そうなることを願い、感謝する日々です。

### この秋・2つのイベントがあります！

#### 女性ハウス開設5周年記念フォーラム

演劇をやります！

平成 30 年 11 月 23 日(金・祝)に、JR岐阜駅にある「じゅうろくプラザ」で開催します。恒例の「仲間たちの体験談」などに加え、今回は演劇をご覧いただこうと考えています。

#### チャペル・コンサート

合唱をします！

平成 30 年 10 月 27 日(土)に、カトリック多治見教会で開催します。午後 1 時～3 時に、地元の音楽家の皆様による美しい歌声と荘厳なパイプオルガンの響きをお聴きいただけます。それに先立ち午前 11 時 30 分から、ダルクの仲間たちの体験談と合唱も聞いていただけたらと考えています。

詳細は次のつうしんでお知らせします。

**ダルクの仲間たちのチャレンジを、ぜひご覧ください！**

## ご支援・ご協力をいただき心から御礼申し上げます

### 献金者名(平成30年4月14日～7月4日) 敬称略

カトリック江南教会 田口大輔 光楽英生 清水宗夫 永嶋恵美 北谷雅春 加藤洋子 木村薫子 堀尾佳広 弁護士・伊藤知恵子 豊田聖ペテロ聖パウロ教会 伊藤直美 木下容子 中西東峯 今川亘 村松みよ子 伊藤皓吉 若岡ます美 塚本恵一 (株)不破・代表取締役・不破達生 服部正博 丹羽哲 河合潔 川合宗次 上杉美穂 藤本弘 菊本舞 社会福祉法人岐阜アソシア 伊藤久枝 岐阜キリスト教会 ハレルヤチャーチ岐阜 (有)加藤損害生命保険事務所 西戸一孝 島源三 吉田春江 カトリック一宮教会 小島浩一 前田功 見平隆 家田重晴 日本キリスト改革派太田教会(尾石) 大竹幸子 木村巨宏 武内榮子 長谷川さかき 高橋直子 福田修 橋本博 赤木貴美江 鎌田憲子 小島良徹 菅沼登志子 勇昭代 岐阜キリスト教会の皆様 有安祥子 小田泉 ラグロサアガハバレンテ 早川昭雄 佐藤ゲロニタ 金森タイ 小松康宏 岩田恭子 深堀冴子 日本キリスト改革派恵那教会の皆様 日本福音ルーテル岡崎教会の皆様 日本キリスト教団蘇原教会の皆様 アガペチャーチ瑞浪チャペルの皆様 同盟福音基督教会羽島キリスト教会の皆様 友愛キリスト教会の皆様 岐阜バプテスト教会の皆様 同盟福音基督教会芥見キリスト教会の皆様 カトリック一宮教会の皆様 弁護士・山本亮 日本キリスト改革派太田教会の皆様 日本福音ルーテル大垣教会演劇発表にて来場の皆様 岡田千歳 匿名者多数

### 献品者名(平成30年4月14日～7月4日) 敬称略

キューちゃん 岡本敏孝 島源三 日本福音ルーテル岡崎教会 木下製網株式会社 カトリック一宮教会 小木曾幸恵 福岡和男 加藤久美子 匿名者多数

※お名前記載につきましては注意を払っておりますが、万が一お名前誤字・脱字または記載漏れなどございましたら、誠に申し訳ありませんが、ダルクまでご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

※発送作業簡略化のため皆様全員に振込用紙を同封させていただいておりますことをご了承下さい。また匿名希望の方は、恐れいりますが、その旨を振り込み用紙通信欄にその都度ご記入下さいますようお願い致します。

※岐阜ダルクでは岐阜ダルク及び女性ハウスの2施設の地代家賃、水道光熱費、専任スタッフの人件費等、毎月一定の固定費がかかる一方、「中間施設」の性格上、きわめて財務基盤が不安定で、皆様方のご寄付が欠かせません。引き続きご理解とお力添えをお願い申し上げます。

### 岐阜ダルク 郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

※Step houseの新しい電話をひきました。TEL:058-201-3555

※ご家庭で使わなくなった88鍵電子ピアノがありましたらお譲りください。

※バザーや地域のフリーマーケットへの参加を定期的に行っています。

ご家庭で眠っている新品のタオルや家庭用品や衣類などがありましたら献品のご協力をお願い申し上げます。たくさんありましたらダルクから近郊の方でしたら取りに伺わせていただきますのでご連絡下さい。(058-201-3555)



編集 特定非営利活動法人 岐阜ダルク  
編集担当 岐阜ダルク後援会 齋藤幸二 鈴木輝一郎  
〒500-8175 岐阜市長住町7-3 TEL/FAX: 058-251-6922  
Email: gifudarc2004@yahoo.co.jp  
ホームページ: <http://gifu-darc.sakura.ne.jp/>  
ダルク日記『今日もぐるぐる』: <http://darcblog.sblo.jp/>  
2018年 岐阜ダルクニュースレター平成30年夏号 (No.66)  
定価 1部 200円  
編集責任者 遠山 香  
発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会  
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター

